

優秀賞

中小企業区分

株式会社GE

※事業者の情報は応募時点(2018年)

所在地	大阪府堺市西区築港新町一丁5番38
業種	サービス業
社員数	69名
受賞歴	2015 奨励賞、2016 奨励賞、2017 優秀賞
ウェブサイト	https://general-ecology.co.jp/

全従業員 の 環境意識 の 底上げ

取組の目的

エコアクション21を認証取得しています。その取り組みに創意工夫をこらし、環境教育訓練や内部・外部コミュニケーション、環境ラリーを実施することにより、協力会社を含めた全従業員のレベルアップを目指しています。また、SDGs に関する勉強会の実施や環境ラリーに取入れることで、SDGs を身近に感じられる環境づくりをしております。

エコアクション21を取組むことにより、環境負荷の低減はもちろんの事、経費の削減もできています。また、環境教育訓練の講師を外部に依頼するのではなく従業員が教育内容等を自ら考えて行うことで、教える側と教えられる側の両方の教育に繋がっています。

取組の実績

エコアクション21を認証取得しており、全従業員(協力業者含む)で、取組んでいます。エコアクション21委員会を設立し、各部署の委員が中心になり教育を実施しています。

●教育訓練

全従業員が対象の物と各部署で実施する教育訓練を、年間計画を立てて実施しており、講師は従業員が行う仕組みをとっています。

教える側は、どのようにしたら伝わりやすいかを工夫し勉強します。また、教えられる側は、同僚が教えてくれるので真剣に受けるようになります。そのように、教える側・教えられる側の双方の成長に繋がる仕組みをとっています。

「環境 人づくり企業大賞 2018」受賞企業の取組事例

●内部コミュニケーション

部署ごとに環境をテーマにしたミーティングを毎月実施しています。環境関連動画の視聴やエコアクション21委員会の内容周知、環境活動の施策等を話し合い、環境意識を高めています。

●外部コミュニケーション

様々な研修やセミナーへの参加、地元行政が主催する植樹活動、小学校の学習支援活動(環境ポスターの募集・プルタブの寄付)、エコキャップの寄付等を行うことで、環境活動への意識及び知識向上を図っています。それらの活動が評価され、大学での外部講師やエコアクション21認証取得前の企業を対象にしたセミナー等で、エコアクション21事例発表の依頼を受けています。



大学生の施設見学の受け入れ



共生の森 植樹活動

●環境ラリー

大栄環境グループで全従業員参加型の環境活動をポイント化し評価する“環境ラリー”を実施しています。業務中はもちろんのこと日常生活の中でも、無理なく実践できる項目を設定し、ポイントを競いながら楽しく取り組んでいます。エコライフアイデアの提出やエコ検定の取得、エコ動画の視聴会への参加等の 17 項目を設定し実施しており、エコライフアイデアは、家庭や職場でできるエコ活動のアイデアを募集しています。さらに事業所毎に応じた独自項目を取入れる事により、事業所毎の作業環境に合ったラリーをする事ができ、従業員のモチベーションを高く保つ事ができています。

また、「SDGs」についての取組みも行っております。視聴会を開催したり、SDGs を環境ラリーの項目に関連付けたり、環境川柳も毎月募集するなどし、SDGsを通して世界が抱えている問題を勉強し、自分たちができることを考えるきっかけを作っております。

成果・課題

環境ラリーで実施しているエコライフアイデアの提出が【平成 28 年度：20 件】 → 【平成 28 年度：62 件】と大幅に増加しました。また、エコ検定の合格者は 69 名中 17 名となっております。

環境負荷の推移は以下の通りです。

昨年度比較をすると増加している項目が多くなってしまいましたが原因を把握することでトラブル等に早期に対応しております。

	平成 28 年度 実績	平成 29 年度 実績	効果
ガソリン使用量	1,001L	1,154L	×
軽油使用量	36,708L	44,139L	×
重油使用量	31,094L	31,016L	○
電気使用料	3,227,530kWh	3,286,210kWh	×
ガス使用量	2,536kg	2,492kg	○
事業系一般廃棄物排出	1,091kg	979kg	○
リサイクル率	88.9%	88.4%	×
上水使用量	1,502m ³	2,128m ³	×
工業用水使用量	103,128m ³	91,468m ³	○
グリーン購入率	42.5%	45.6%	○

今後の改善

環境ラリーの取り組みを行なっているうちに従業員の中で、意識の高い従業員となんとなく取り組みを行なっている従業員との間ではラリーの点数差が大きく開くようになってきました。まさにラリーをやっている人とやらされている人の差が明確に点数として表われてきました。形式ばかりの取組にならないよう、一人ひとりの意識改革をしなければならないと思い、まずは視聴会の参加者数を増やす事が重要と考えました。事務局主催の視聴会に参加してもらえれば、視聴会を通して意識向上を直接訴えかけるチャンスになります。高い意識を持って取り組みを行なっていけるように、多くの従業員がいかに興味を持って楽しく参加をしてもらえるのかを考えました。視聴会の開催時間を合わすことが難しい現場の者が多い中で、現場に合わせた開催時間や現場での視聴会を開催する等の工夫をしました。結果、参加人数が大幅に多くなり、同時に動画に対する個人の意見が増え、環境問題の意識向上へと繋がったと思います。

次年度も、環境ラリーを意識改革の主体と捉え、平成 29 年度の環境ラリーの平均取得点数を上げる取組みをしたいと考えております。そのためには今期目標の「全従業員の環境意識の底上げ」を引続き取り組み、視聴会の資料提供や講師などを従業員自ら積極的に務められるよう、従業員のステップアップを目指します。従業員全員が様々な環境問題の主人公となり、取り組みを行なっていける職場の環境作りを事務局として目指していきたいと思っております。

関連補足情報

(株)GEホームページ「環境への配慮」

<https://general-ecology.co.jp/eco/index.html>

(株)GE 環境活動レポート

<http://ea21.jp/list/pdfn/0001728.pdf>

審査委員会からの講評

同社は産業廃棄物の収集・運搬・保管・中間処理を行っている。エコアクション21に取り組みながら、SDGs を意識し、全従業員の環境意識底上げを目指している。教育に関しては全従業員が教える側と教えられる側になることで従業員の成長につなげている。

また、従業員の環境活動をポイント化し評価する「環境ラリー」の取組が効果を上げている。業務上の活動のほか、日常生活における取組、エコライフアイデア提出、エコ検定、エコ動画視聴会参加など17項目が設定されている。取組を重ねて従業員間の点数差が大きく開いてきた原因を分析し、例えば、現場の実態に合わせて視聴会の開催日程を変更したことが参加者数増につながり、従業員の意識向上が図られ、さらに、エコライフアイデア提出件数の大幅増を実現するなど、着実な発展が伺われる。

今後はこうした従業員の意識向上を環境負荷の低減や業績の向上などに結び付ける仕組の構築にチャレンジしていただきたい。